



研究部会報告

● COM・SCM・スケジューリング ●

・第23回

日時：6月23日(金) 18:00~20:00

出席者：37名

場所：青山学院大学 青山キャンパス総研ビル9F
第16会議室

テーマと講師：

「日立のサプライチェーン経営革新活動-
SPIRIT 21：手法とツール」

毛利 峻治 (株)日立製作所 生産技術研究所

本講演では、日立が1997年に開始した
「SPIRIT 21」と呼ばれるサプライチェーン改革プロ
ジェクトの概要を紹介した。具体的には、改革の手順
やノウハウ、用いたツール、改革のための要件を中心
に、パソコンやエアコンのサプライチェーンに対する
実施例を示した。

● 評価のOR ●

・第2回

日時：6月24日(土) 13:30~16:00

出席者：20名

場所：日本大学会館

テーマと講師：

(1)「ファジィ・コンジョイント分析」

上田 徹 (成蹊大学)

フルプロファイルランク順位を入力したときに、部
分効用を表す係数 a_{ij} を三角関数ファジィ数とすること
により、フルプロファイルランク順位を再現化でき
るように線形計画法で定式化した。これにより定式化
の自由度が増加するため、より多くのランク順位デー
タを説明できた。

(2)「支配型 AHP について」

木下 栄蔵 (名城大学)

AHPの歴史ならびに代替案追加時の順位逆転現象
などの問題点を解説した。その問題点を克服するため
に、評価項目の重要度ならびに代替案の評価が、特定
の具体的な代替案を基準にイメージして始めて決定で

きるという考え方によって立つ支配型 AHP, ならび
にその計算手順について説明した。

● ゲーム理論とその応用 ●

・第3回

日時：6月24日(土)

出席者：28名

場所：東京工業大学大岡山キャンパス西4号館
W461講義室

テーマと講師：

「Evolution of Attitudes towards Risk」

荒木 一法 (早稲田大学政治経済学部)

リスクのもとでの意思決定における期待効用最大化
行動の発生を、進化論的ゲーム理論の枠組みを用いて
考察した。有限人からなる社会を明確に想定した上で
議論を行ない、リスクが社会においてどのような位置
付けにあれば、期待効用最大化行動が支配的になるか
を明らかにした。

● 待ち行列 ●

・第151回

日時：7月15日(土) 14:00~16:30

出席者：24名

場所：東京工業大学 西8号館(W)809号室

テーマと講師：

(1)「巾級数における係数の漸近的ふるまいについて」

中川 健治 (長岡技術科学大学電気系)

すべての係数が非負の巾級数において、その収束半
径が1より大きく、かつ巾級数によって定義される複
素関数が高々有限個の極を除いて収束円周上で正則で
あるという条件のもとで、係数ベクトルの裾が指数的
に減少すること等が示された。これらの結果の待ち行
列への応用についても述べられた。

(2)「インターネット電話の品質評価について」

高野 正次 (NTT 研究所)

インターネットなどのデータ系のネットワーク上で
電話などの音声アプリケーションを用いることが広ま
っているが、音声通信の品質として、人間が実際に耳
で違和感を覚えないように音声フレームを転送できる
必要がある。この目的のために端末間での遅延や揺ら
ぎをトラヒックモデルにより評価した事例が報告され
た。